

保育北九州

令和4年1月1日
発行 (一社)北九州市保育所連盟
〒805-0019
北九州市八幡東区中央2丁目1-1
(レインボープラザ5F)
電話(093)661-2153番
発行人 酒井 光 義
編集人 西 敏 昭

2022 **206**



「みんなで たのしい
おしょうがつ」
(5歳児の作品)

雑感 「友だち」

私には、会えば笑いの絶えない友だちがいます。おばちゃん特有のお喋り大好き、お出かけ大好きのお友だちは、職場も年齢も血液型もバラバラ、全員保育士、趣味で気が合い旅行や観劇等いつも楽しく遊んでいます。誰からと声をかけるのではなく、自然と集まり、国内、海外問わず行きたいところに行っています。細かい計画も立てず、成り行き任せ、景色を楽しむよりはお喋りを楽しむ、お互い気を遣わず、自由勝手気ままにできるのが心地良いのです。なので、ハプニングはつきものですが、それも楽しくて、会えば思い出話として花が咲き、喋りだすと時間がたつのも忘れてしまい、周りからは、良くまあ喋ることがあるね、とあきれられています。

しかし、令和2年2月からの、新型コロナウイルス感染症の拡大により、旅行はおろか集まることもままならず、お家時間が増え、電話やラインによるやり取りの中でも、最大限に喋りを楽しみ、最後は「次はどこに行く？」が合言葉のようになっていきます。

そんな日々が続く中で、ふとした時に思うのが、私には一緒に笑って泣いて過ごせる友だちがいますが、今の子どもたちはどうなんだろう？大きくなった時に、一緒に笑って泣いてくれる友だちがいるのだろうか？と考えてしまいます。

小さい時から、ゲームにスマホ、絵本を見るのもタブレット…の個人の時代、日々子どもたちと接していて、日常会話、家庭内での会話の少なさを感じています。この子どもたちが大きくなった時、まわりの人たちとうまく関わり、コミュニケーションが取れるのだろうか？と心配になってしまいます。子どもたちが大きくなった時どんな社会になっているのでしょうか？不安は、広がるばかりです。

人は、社会との繋がりを切ることはできないし、自分の思いは、言葉で伝えることがとても大事です。子どもの時から、友だちとたくさん遊び、遊びの中で子どもたちは、コミュニケーション能力を高めてきました。昔は、暗くなるまで外で遊びまわり、隣近所の人たちと関わっていました。歳のせいか昔話で盛り上がる私たち、口癖は「今の子どもたちは…」となり、「こういう愉快な仲間がいるって大事よね」と聞き直ってお喋りを楽しんでいます。一刻も早く、新型コロナウイルス感染症が終息に向かい、いつもの日常が戻ってくることを願いながら、子どもたちにも、すてきな友だちや仲間が一人でも多く出来るといいな、と思う日々です。

さくらんぼ保育園 園長 加来 香澄

編集後記 — 三意の心 —

自宅から一歩道路(参勤交代が行われていた大里宿場街道筋)に出ると真向いにもお寺が建っています。山門の横には毎月定期的に語句が張り出されており、目にする機会が多く毎月楽しみにしています。

今月は三意「熱意」「創意」「誠意」の語句です。

仕事をする上での欠かせない言葉であります。

「熱意」… 色々な目的を成しとげようとする意気込み。

「創意」… 方法や手段を見つけ出す。

「誠意」… 真心、心をこめて接する。

松下電器産業株式会社の創業者である松下幸之助氏は「2階に登りたいなあではダメ、なんとしてでも2階に登りたい、そんな情熱がはしごを生んだ」と、2階に登りたいとはだれしも思う、しかし、思いでは2階には登れません。

なんとしてでもという思いを創意工夫し「はしご」という手段の方法に思いいたると記しています。

乳幼児を適切な環境のもとで、健康かつ安全に活動できるように養護すると共に、心身の発達を手助けする保育現場でも、コロナ禍の状況の中、その活動にも対応を求められ、様々な面においても保護者に対応し、子育てに関する悩み事の相談やストレス軽減等に真摯に取り組む、熱意・創意・誠意をもって接して行く事が保育者の使命であると思うこの頃であります。

今年もより良い紙面作りに編集委員一同、鋭意努力し努めて行きたいと思います。次号の発行時期にはコロナ終息の兆しを望みたいものです。

「保育北九州」編集長 西 敏 昭

「やさしいとらが いるんだって ぼくもみんなをまもるよ」

〈提供 小倉北支部〉

(5歳児の作品)

表紙	1
新年挨拶	2～3
特別企画 事務局全員集合！	4～5
第59回 北九州市保育研修大会	6～7
仲間たち	8～9
研修・一期一会	10
元気のもと	11
雑感・編集後記	12

新年のご挨拶

一般社団法人北九州市保育所連盟

会 長 酒 井 光 義



あけましておめでとうございます。会員の皆様には、健やかに新年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。昨年は当連盟の主催する各事業におきまして、皆様方の多大なご理解とお力をいただきましたこと心よりお礼申し上げます。本年も変わらぬご協力のほどお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の発症から既に2年が過ぎました。世界中に拡散し、今では新たな変異株となつて更に拡大が進むなど不安な状況は変わりません。この間、罹患され亡くなられた方々、今なお治療されている方々に対し心よりお悔やみ申し上げます。そしてその対応にと、自らの感染リスクを負いながらも懸命に治療に当たられている医療従事者の皆様へ心よりエールを送りたいと存じます。そして私共保育界においても、同じく

感染リスクを負いながら、子どもたちの健やかな成長と保護者の就労支援のため、エッセンシャルワーカーの責務として、最大限の感染拡大防止に努めながら日々の保育にあたられている会員の皆様方に対し心よりのエールを送ります。ご苦勞様です。そしてありがとうございます。

昨年は更なる拡大による数度の緊急事態宣言が発出され、家庭からの感染をはじめとした保育所（園）等での感染報告も連日発表され、一層の緊張の日々でありました。そうした中、国内のワクチン接種の開始と共にその順位において保育関係者への優先実施が叫ばれ、医療従事者、高齢者につぐエッセンシャルワーカーの要員としての優先対象者と明記されたことは何よりの朗報でありました。保育所（園）等は、現代社会を支えるものとして必要不可欠であることが証明されたこと

でもあります。それはまた裏を返せば保育関係者としての自覚と責任を持った行動を求められることではありますが、誇りをもってそのための研鑽は精一杯惜しまぬように努めたいものです。

ワクチン接種が進む中であつて、昨年未から新たなオミクロン株の急激な拡大も大変憂慮するところですが、子どもへの感染が進んでいることが一層危惧される所です。施設の休園に及んだところもあり、内外の対応に大変ご苦勞されたことでありましょう。子どもの命を預かる施設にあつて、感染防止対策は当然かつ必須な事ではありますが、今後は感染後の施設の対応、感染した子どもの体調管理など、分かっていることではあります。アプターケアの大切さを決して忘れてはならないことですし、重要な事との認識が必要です。

今、国の政策において子どもに関する課題は最も重要な項目として多くの議論がなされています。中でも令和3年5月に始まった「地域における保育所・保育士等の在り方に関する検討会」は8回の議論を重ね、まとめとして 1. 人口減少地域等における保育所の在り方 2. 保育所・保育士による地域の子育て支援 3. 多様なニーズを抱えた保護者・子どもへ

の支援 4. 保育士の確保・資質向上、という4つの論点に対して、①取組に向けての検討を速やかに開始すべきものと②中長期的な課題として検討すべきものは、今後の方向性に関するものの2つの視点から、それぞれ取り組むべき内容や今後の施策の方向性が整理された」とりまとめ案」が示されました。

「人口減少地域の保育をどう維持していくかは大きな課題であり、待機児童対策から軸足が転換したエポックメイキングになると考える。」との厚労省のコメントは今後の施策の方向性を示すものであり、現に北九州市内での認可施設の定員割れ等の状況からみても現実的な課題として対応解決策を考えるアクションを起こさなければならないところ。また国において子ども政策、保育に関するもの、処遇改善等々議論が活発に行われている最中、保育界全体が真剣に向き合いしっかりと意見具申して成果のある年にしなければと願うことです。

新年を迎え、これまで築き上げてきた認可施設として、保育施設としての誇りを胸に、「保育」そのものはこれまで通り「子どもたちの立場に立った視線」で、ともに歩んで参りましょう。本年もどうぞよろしくお願い致します。

会長 酒井 光義

顧問 西村 賢了

橘原 淳信

副会長

山本 文雄

松尾 副充

北野 久美

林田 猛利

保育士会参事

中村 尋子

保育士会副会長

黒田 玲子

富士田 直美

重國 香

本年も宜しく
お願いいたします



若松支部

支部長

松尾 副充

保育士会長

小野久美子

八幡東支部

支部長

岡本エミ子

保育士会長

西山かおり

八幡西支部

支部長

山本 文雄

保育士会長

坂田 里美

戸畑支部

支部長

平田 敬子

保育士会長

坂本 環

立の大変さを実感しています。そして、現在産休中です。2月に出産予定ですが、初めての出産・育児で不安だらけです…。先生方にいろいろとアドバイスを頂けたらと思います!!がんばります!!

① 田崎 里李香
② 陣原保育所 事務
③ ゲーム実況を見ること・整理整頓
④ 昨年2月に子どもが産まりました。娘に毎日癒されながらも、慣れない育児に奮闘しています!!週末、娘を寝かしつけた後に息抜きで夫と夜中までオンラインゲームをする時間が大好きです。二人とも夢中になると時間を忘れて没頭するので、寝不足になりがちです。

① 和田 彩莉
② 千防保育所 事務
③ ライブ参戦
④ ラジオを聴くことにはまっています。至らないところも沢山ありますが、真面目にコツコツと頑張る所存ですので今後ともよろしく願いいたします。

① 秋永 愛友
② (公社)北九州市私立保育連盟・子育て支援サロン 事務
③ 音楽鑑賞・漫画
④ あけましておめでとつございます。今年成人式を迎えます。まだまだいたらぬ点も多いかと思いますが、精一杯業務に努めていきたいと思えます。オススメの音楽や漫画があったら是非教えてください。今年もよろしくお願いします。

① 瀬尾 愛美
② (一社)北九州市保育所連盟・北九州市保育士会 事務
③ 旅行(目標:日本全国制覇)・スポーツ観戦・卓球
④ あけましておめでとつございます。今年は、旅行や会場でのスポーツ観戦がたくさんできたら良いなと思っています。今は、バレーにハマっているののでいろんな試合を見に行きたいです。今まで同様「すべてに全力」で頑張りますので今年もよろしく願います!!

① 許山 汀奈
② 北九州市保育士会(一社)北九州市保育所連盟 事務
③ 韓国ドラマや映画を見ること・バレーボール・バスケットボール・英語・人の誕生日を覚えること
④ 昨年、3月から一人暮らしを始め

編集委員紹介



左から 後列:深堀、吉川、河淵、山本、上原
前列:町田、西、松尾、上瀧

した。まだまだレパートリーは狭いですが、料理をするのが好きです。姉が3人いるので、お休みの日は姪っ子・甥っ子と遊ぶことが多いです。これからも、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

① 濱地 紫音
② 東筑保育園 事務
③ 趣味は読書です。最近読んだ原田マハさんの「本日はお日柄もよく」は、心がとても温められました!!

① 財津 美智江
② 陣原保育所 事務
③ 旅行・食事の準備を手際よくすること
④ ユーチューブで海外の旅行の仕方を見たり、ストリートピアノを見るのが楽しいです。(ラ・カンパネラ)

特別企画 事務局全員集合!



左から 後列:濱地、和田、秋永、財津、許山、瀬尾
前列:本村、松枝、片山、清田、田崎、柴田

お世話になっております。
事務局の精鋭12名+1名
(ベビー)です。
よろしく願います。

① 氏名 ② 担当業務
③ 趣味・特技等 ④ ひとこと
(自己アピールや最近ハマっていること等)

【事務局長】

① 清田 千年
② 事務局の総括
③ 下手なゴルフ
④ 平々凡々:日々き日。
最近とみに物忘れが激しくなっています。事務局の皆様のおかげで、日々楽しくやっています。

【職員】

① 片山 綾乃
② 北方保育所 事務
③ 野菜作り・城めぐり
④ 初心を忘れずに、職員の「和」を大切にしながら頑張ります。よろしく願います。
会員の先生方のおすめのお城がありましたら教えてください。嬉し

① 松枝 史帆
② 萩原保育園 事務
③ まだまだ子育て奮闘中
④ やりっぱなし・散らかしっぱなしを減らしていきたいです。そして、断捨離を始めて、物が帰れる場所を作ればきつと散らかさず仕事が出来ますよね?

仕事環境改善の第一歩!?

① 本村 千聖

② (公社)北九州市私立保育連盟・補助金 事務
③ 読書・旅行で美味しいものを食べる。コロナ禍で行けなくなっから、旅行も趣味だったことに気づきました…。いま趣味が特にないので、これから積極的に新しいことにチャレンジしてみたいと思っています。
④ 前回に掲載していただいてからもう8年も経っていることに驚いています。先輩たちのように、丁寧なお仕事で保育園に携わることができるよう頑張ります。よろしくお願いします!

① 柴田 沙樹

② 鳴水保育園 事務
③ ライブ参戦・音楽鑑賞
④ 昨年2月に結婚し、仕事と家庭の両

第59回 北九州市保育研修大会

例年11月2日・3日に開催している保育研修大会ですが、全国的に拡大するコロナ禍の中、一堂に会しての開催を見送ることといたしました。

しかし、昭和38年から続く学びの場を途絶えさせることのないよう、前年に引き続き講師の協力を得て「Youtube」による講演会の配信を行いました。以下、その概要をお知らせいたします。

第一日目 施設長特別研修会

行政説明

「北九州市の保育行政について」
北九州市子ども家庭局
事業調整担当課長 村上 幸夫氏

少子高齢化、出生率、初婚年齢等について国や政令市と本市を比較し、その分析結果を説明されました。本市の子育て支援の魅力を紹介され、その取り組みの中のSDGs（持続可能な開発目標）については、人口の維持、人々が子どもを産み、育てるという気持ちを持ち続ける事が出来るような環境の整備を行っていかねばならないと話されました。

講演

「これからの保育を考える
～地域における保育所・保育士の
在り方に関する検討会より～」
講師
東京家政大学 准教授 堀科氏

今年度より厚生労働省で検討が始まった「地域における保育所・保育士等の在り方に関する検討会」についての議論の背景と、現在協議されていることについて資料を基に、丁寧に咀嚼して解説をしてくださいました。

現状から考えられる保育に関する長期的な課題の一つとして、「待機児童が0＝人口減少社会」では、保育所の利用児童数のピークは令和7年となる見込

社会福祉法人による連携・協働しやすい環境整備を図ることを視野に入れ、事業展開の在り方をともに考えていく必要があるとされています。

また、昨年から先達との別れが続きました。日野真人先生もそのお一人です。先生は連盟50周年・保育北九州171号の編集後記で、石倉三郎氏の「辛抱ってのは、辛さを抱きしめるってことだからな。我慢することじゃない。」というセリフから、辛いこと、悲しいことをただ通り過ぎるまでじっと耐え続けることが辛抱ではない、そのまま我が胸に抱きしめることこそが辛抱なのだ気づかれました。子どもたちの喜び、悲しみをそのまま我が胸に抱くことが保育なのだろうと、と記されました。その味わい深い言葉を今一度、振り返りお届けします。との報告がありました。

活動報告

「北九州市保育士会の活動報告」
北九州市保育士会

北九州市保育士会会長 北野久美先生より、全国保育士会と北九州市保育士会の活動報告がありました。

全国保育士会の活動については、2040年を見据え、2030年までの10年間は「地域共生社会」の推進とともに生きる豊かな地域社会」の実現をめざ

第二日目 全体会

基調報告

（二社）北九州市保育所連盟
会長 酒井 光義

長期にわたる新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に、日々最大限の努力をしている皆様に心より感謝しつつエールを送ります。今後も第6波阻止に努めてまいります。

各園の行事もなかなか思うように開催できない状況の中、様々な研修がWebで実施されています。園でのコロナ感染もあり心労が絶えない時期があるなか、早急にこの状態から抜けるべく連盟では職員へのワクチンの優先接種を申し入れ、市長や市議会の理解をいただいて、7月から接種が始まりました。私たち保育関係者が社会機能の維持に欠かせない存在（エッセンシャルワーカー）として位置づけられたことに対し、感謝申し上げます。

国において行われている「地域における保育所・保育士等の在り方に関する検討会」では人口減少地域における保育の在り方が課題にあげられています。令和4年度から施行される「社会福祉連携推進法人制度」についても2040年に向け人口減少に伴う人手不足など、問題の深刻化が予想される中、新たな選択肢の一つとして複数の



かと語られました。

そして、「ヒト」は人間という生物の一種と捉え、「ヒト」とカチカチ表記をしています。「ヒト」は他者との身体的接触なしには生存できない生物であり、他者との「密・接触」を基本とする社会環境の中で、脳と心が進化してきた生物です。

脳と心は乳幼児期の他者との触れ合いの経験が発達に不可欠であり、それを促すのが親であり周りの大人という環境に他なりません。抱っこをしている時の心地よい感覚と声や視覚によって脳が発達していきます。子育てはどんなに文明が発達しても、ロボットがその役にとって代わることはできず、身体的接触が子育てには一番大切であると説明されました。

また、脳は25年間という長い時間をかけて発達します。中でも感受性期に最も発達し、その時期を見逃さないことが必須であります。この「コロナ禍」で、マスクをした他者との日常経験がもたらすリスクについて話され、マスクをした保育士によってその発達が損なわれない為にも保護者の方に今まで以上に子どもに表情を見せて接して頂く事を促していくことが「コロナ禍」の子どもに大事なことであると説明されました。

最後に「ヒト」を育てる環境を再チェックし、保育士と科学者が情報交換しながら子どもたち一人一人が幸福を感じられるような社会を一緒に実現できるようにと私たちエールを送られ締めくくられました。

およろこび

☆ 令和三年春 瑞寶雙光章

聖愛保育園 園長 山本文雄

☆ 厚生労働大臣表彰(社会福祉功労者)

おぶね保育園 園長 有野 俊文

☆ 厚生労働大臣感謝状(保育事業従事者)

西光保育園 園長 西 敏昭

大川保育園 園長 上瀧 美絵

聖愛保育園 副園長 坂本 栄子

古城保育園 園長 林田 裕子

☆ 全国保育協議会会長表彰

花かご保育園 園長 日笠 智子

杉の実保育園 園長 金子 裕美子

認定こども園 洗心保育園

園長 海野 潤子

☆ 全国私立保育連盟 保育功労賞

こじか保育園 園長 山崎 啓子

認定こども園 洗心保育園

園長 海野 潤子

☆ 西村法昭顕彰会表彰

聖愛保育園 園長 山本文雄

認定こども園 清心保育園

園長 境目 操



前回の『保育のエピソード』いかがでしたでしょうか。保育士の仕事が多々好きになったのではないのでしょうか。今回も第2弾として、4園の保育士さんのご協力のもと作成させていただきましたので、ご紹介いたします。

Q1 園で見られた子どもの姿・エピソード

●コロナ禍で、以前のようにみんなで歌を歌うことが難しくなっています。そんな時に、歌うことは楽しいと改めて思う出来事がありました。「あまだればったん」の歌がお気に入りの1歳児Hちゃん。なんだか視線を感じて顔を上げると「あまだればったん」と歌いながら手をたたいていました。私と目が合うと「さあ、ごいっしょにー」という風に手をたたきながらそばに来たので一緒に歌

うと、楽しくて二人とも自然に笑みがこぼれました。

●受け持っている0歳児クラスのAちゃん。最近手づかみ食べが上手になつてきて、自分で持つて食べているのですが、左手におかずを持つていたことを忘れ、泣いて催促をしていました。私が左手を指差し「ここにあるよ。」と知らせると、手におかずを持つていたことを思い出し満面の笑みでニッコリ！食べ終わった後に自分の左手を見て、また悲しそうな表情になつていいるのも可愛かったです。

●現在0歳児クラスを担当しています。1歳を過ぎた頃より、着替えにも興味がもてるように働きかけています。その日は私の前に4名の子どもが座つていて、丁寧にやり方を伝えていました。着ていたシャツを頭の上まで一緒に引つ張り上げ、後は子どもが自分で「ばあー」と抜くだけです。「お顔でたねー」「上手ねー」と褒めるはずだったのですが、4名ともが皆、頭の上にシャツを乗せたまま、ただ私を見てニッコニコ。あまりの可愛さに笑うしかありませんでした。

●運動や身の回りのことをそつ無くこなし、友だちにも慕われているが、どこか自信がなく過ごすBちゃん。逆上がりができるようになると、控えめながら友だちに教える姿がありました。保育士が「Bちゃん、小さな先生みたいだね」と伝えると張りきつ

た様子で、今度は積極的に友達に教えるようになり、その後Bちゃんの大きくなつたら・・・の夢が「逆上がりを教えてあげる保育士」となったのです。Bちゃんと保育士のやりがいを共有できた嬉しい瞬間でした。

●女の子たちとお団子や料理を作つてあそんでいると、一人の子が「ママがご飯買ってきたわよ」と言つたので、「おいしそう。いただきます」と食べようとしたら、「待つて、チンしない」と食べれないわよ」と言われました。なるほど、と可笑しかったです。

Q2 我が園の工夫

●子どもが主体的に遊ぶ園庭づくりに取り組んでいます。イメージを膨らませて遊べる素材や可動式の運動遊具などを常設し、職員が子どもの発想や挑戦したい気持ちを尊重し、遊びを見守ることで生き生きと遊ぶ姿が増えてきました。

●我が園は、自然豊かな場所にあります。地域の方の協力でたけのこ掘りをさせてもらったり、田植えの見学や栗拾いをさせてもらったりもします。秘訣は地域の方に向けての元氣な挨拶です。

●子どもたちの健康維持活動として、3歳以上児は、開園以来ずっと毎朝の体操やウォーキング・エッサッサを欠かさず行っています。

●リズム運動。0歳からしており、年齢

を重ねるほどに色々な動きができるようになり、身体がしなやかに育っていきます。

●戸外あそび、どんぐりあそび、水あそびなど自然に親しみながら、一人一人がその子らしく、のびのびと過ごせる保育を目指す保育園であり、保育士の個性を活かしながら保育を常に見つめ直し、話し合いの場を設けています。

Q3 おすすめ玩具・遊具・絵本

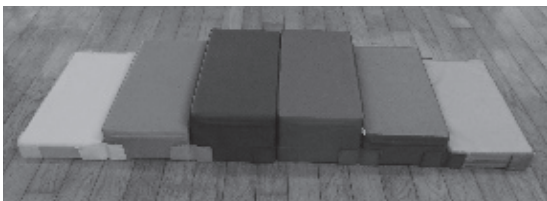
●自然豊かな「トトロのもり」には子どもたちの冒険心を誘う、ゆらゆらロープや丸太のはしごなどがあります。



●『やわらかいだん』という遊具は、月齢に合わせてハイハイしたり、歩いたり：様々な動きができます。面ファスナーでつないで組み替えができ、ずれることもないので0歳児でも安全に

遊べます。

●0歳児クラスでは段ボールに穴を開け、ボールを落とし入れてあそぶ手作り玩具が人気です。絵本は「だるまさんシリーズ」の反応がとてよく、「だるまさんが」のリズムに合わせて身体を揺らして楽しんでいます。



●2～3歳児「おやすみなさいおつきさま」お昼寝前に読むと、ゆつたりとした時間になります。「かみさまからののおくりもの」その子の個性を大切に：という絵本です。

●3～4歳児「11びきのねこ」シリーズユーモラスな猫たちに大笑い、ごっこ遊びに最適です。「めつきらもつき

らどおんどん」かんたと一緒に子どもは不思議な世界に迷い込みます。



Q4 保育士になって頑張った事

●昔から人に思いを伝えることが苦手な私は、思っていることや伝達事項などを相手にしっかりと伝えられるように、内容を紙に書き、先輩に聞いてもらっていました。それを毎日続けることで、苦手意識を克服することが出来ました。

●保護者とコミュニケーションを取ることで、先輩の姿を参考に、子どもの可愛い姿や出来るようになったことを伝えることで、安心感を持ち、信頼してもらえるように努力しました。笑顔が欠かさないようにしています。

●子どもの代弁者となって保護者に伝えていくこと。また保護者の思いを汲み取り子育てに前向きになれるように働きかけること。上手く伝わらずに悩むこともありましたが、微力

ながらも力になれた時には大きな喜びを感じます。

●子どもたちを日々しっかりと見ていくこと。気持ちを理解すること。それは、保護者へも同じ。保育士の仕事は人間力を高めることも大切だと思うので保育の研修はもちろん、本などもたくさん読んで、また、綺麗な物・素敵な場所・作品なども意欲的に触れるようにしました。保育とは違う世界にとびこんで、色々な人と出会い、色々な考えを知り、コミュニケーションをとり、自分が偏つた考え方にならず、色々な見方考え方が出来るようになりたいと思います、今も継続中です。

●どの年齢でも、歌を唄うと笑顔になり、季節も感じられ、楽しい雰囲気共有できます。大きいクラスになると一体感も生まれます。そうやって欲しいと思い、たくさん歌を頑張つて覚え、常に歌声あふれるクラスを目指しました。

Q5 保育士になって〇〇な事

●嬉しかった事：私は子育ての悩みは尽きないし、正解がないと思つています。なので、保育士になつてからは保護者の思いに寄り添い、支援することを中心がけてきました。「先生に出会えて良かった」と言われたときはとても嬉しかったです。

●喜びを感じる事：保育士になつて喜

びを感じることは、子どもが私に信

頼を寄せてくれることです。担任以外の保育士が部屋に入つてくると、急いで私の側に来て、ギューツとしがみついてくれる姿に日々喜びを感じています。

●よかった事：子どもたちの日々の成長を感じ、喜びを保護者や職員と共有できることです。反対に、つまづきをもつた子どもや悩みを抱えた保護者の存在を知り理解できることで、決めつけた考えをもたずに穏やかな気持ちで見守りや援助が出来るようになったことです。

●嫌な事：仕事が終わつても子どもの様子が気になり、この活動の時こうすればよかったと考えること。このおもちゃはどうかな、この遊びはクラスで出来るかななどに常に仕事のことを思うこと。ONとOFFの気持ちの切り替えは大切だと思います。

●変わった事：食事が早食いになりました。以前務めていた保育園は子どもと一緒に食事をしていたので、ゆつくり食べる事ができず、私生活でも早くなりがちとなり、でも好き嫌いはなくなりました。

（アンケートを終えて）
アンケートに答えて頂きました保育士の皆様、お忙しい中ありがとうございます。今後も「保育北九州」へのご協力よろしく願いたします。

研修・一期一会

第64回全国保育研究大会

令和3年11月17日（水）「第64回全国保育研究大会（三重大会）」のオンラインによる研修に参加させて頂きました。

開催地三重県の各保育施設の映像から、黙食している姿、距離をとって食事をする姿、マスクをしながらの保育、保育士が玩具等の消毒をしている姿、子どもたちのたくさんさんの笑顔と共に「コロナに負けやん 子どもたちは今日も元気です」という力強い言葉があり、他県でもコロナ禍で同じように子どもたちの笑顔を守るため頑張っている保育士の姿を見ることができ、仲間がいるということに心強さを感じたオープニングでした。

厚生労働省 子ども家庭局 保育課長 林俊宏氏による行政説明では、保育の受け皿拡大に加え、新型コロナウイルス感染症を背景とした利用控えにより待機児童が減少した

が、今後、新型コロナウイルス感染症が落ち着けば、再び待機児童が増える可能性があるとお話をされました。

全国保育協議会 会長 奥村尚三氏による基調報告では、核家族化、家庭や地域の子育て機能の低下、未就園児の支援等地域や家庭を取り巻く環境の変化に伴い、地域における保育所が「かかりつけ相談機関」としての役割を果たすことが求められると話されました。行政説明、基調報告を伺い、私自身、保育士として、自己研鑽を深め、自身の保育力の向上を図り、微力ながら社会への貢献をしていきたいと改めて感じました。

記念講演では、「いま、求められる保育の質の確保と向上とは」というテーマで、玉川大学 教授 大豆生田啓友氏より、実践例を多く交えながら、幼児教育・保育の大変革期の保育、すなわち量ではなく質が重視され、子ども主体の質の高い教育・保育を保障すること、そのための人材育成が求められる時代であり、保育の振り返りの大切さなどをお話いただ

きました。子どものつぶやき、ふとした仕草を見逃さず、日々の保育を振り返り、子どもの気持ちに寄り添い、成長を促す大切さを感じました。

保育の質の向上としての、自己評価は大切であるが、出来たか出来ないかを評価するのではなく、日々自身の保育の振り返りを行うことが求められており、自園でも園内研修等で自己評価について研修を重ねておりますが、今後も、保育の振り返りを積み重ね、保育の質の向上に努めようと改めて感じました。

分科会では、「配慮を必要とする子どもや家庭への支援にむけて」というテーマで、香川大学 准教授 松井剛太氏のご助言・ご指導のもと、オンライン上で質問も交えながら、聴覚障害、運動機能障害、発達障害の障害別で3園が実践発表されました。

松井氏の言葉の中で、「配慮が必要な子というのは、大人の常識の中で理解しがたいものを持つているが、魅力があふれる子という見方ができ、もつとその子を知りたいと思う」と問題行動が愛おしいと思える時がくる」という言葉が心に残りました。配慮が必要な子は、その子自身が困りを感じていると思います。

その子を知りたいと思つて関わり、その子の魅力に気づける保育士でありたいと思いました。

今回、全国大会に参加させていただき、新しい生活様式のもとで、いろいろと制限されることもある中、子どもたちの笑顔を守るため、保育の質を向上するための学びへの意欲を持ち続けることの大切さ、私たち保育士の日々の努力が子どもたちの未来を変えていくことを改めて感じ、今後も一人の保育士として、自分の責務をしっかりと努めようと感じました。

花乃路保育園 西村美奈子

寄付

（二社）北九州市保育所連盟

へご寄付

認定こども園 清心保育園 園長 境目操先生より保育事業発展のためご厚志を頂戴いたしましたので、ご報告申し上げます。寄せられましたご主旨を尊重し、有意義に活用させていただきますとともに心から感謝申し上げます。



園の子どもたち

今回、園長先生にテーマを頂き、迷いなく「園の子どもたち」と返答した。無邪気で、素直で、一生懸命で、甘いん坊で頑張り屋で。そんな子どもたちの傍にただで、口角も上がり日々、表情筋も鍛えられる。しかし、昨今はコロナ禍でマスク生活。子どもたちとの関わりの中で微笑だけでは『気持ちのキャッチボール』に物足りなさを感じ、物静かな私が!「あははは」と声に出して笑うようになった。不慣れな生活の中でも、自然に身に付けた笑いの効果は健康に繋がっていることに間違いはない。

以前、マスク無しが当たり前だった頃の保育時間。おしゃれが大好きな女の子から「先生口の周りにひげが生えているよ。ママみたいに処理せなよ!」と度肝を抜かれるアドバイスをもらった。顔の手入れはいつ

頃から気にしなくなったのか?白髪としわのケアに目覚めた最中でのその一言は流石に小恥ずかしい。その子の正面に座る度に大人気なく何かと意識したが、今はマスクで隠せるようになり安堵する自分がいる。

日々の悩みは、年々落ちていく体力。子どもたちの大好きなおいかけっこは数分で疲れ果て、挙句の果て長年の経験で編み出した『まてーまてー』と声に面白おかしくリアクションをつけて数歩だけ追いかける。30名の子どもを相手に一人ずつタッチしていた頃が懐かしい。

そうはいっても子どもたちは、不思議な動きで楽しませる保育士を、怖いもの見たさに近寄っては離れて楽しんでいる。しかし追いかけて役を若い先生に任せっぱなしにする訳にはいかない。今回頂いたテーマをきっかけに、元気いっぱいの子どもたちと遊びの中でちょこちょこ意識して腿上げ、反復横跳び、屈伸などに組み、時には雑巾がけをしながら負荷をかけて全身の筋力を鍛え、園庭を駆け回れるように体力向上に努めていきたい。

DISH

私は、音楽を聴くこと・観ることが趣味です。

歌謡祭やYouTubeなどで音楽を聴く、観る時が一番リラックスできます。幸いにも、子どもも歌に興味をもっており、一緒に見たり、歌ったりしています。多くの音楽アーティストがいますが、中でも、DISH（ディッシュ）のグループがとても好きです。音楽に対する姿勢やメン



バーの温かい雰囲気、仲がいいことなど、魅力はたくさんあります。なかでも私の推しは、北村匠海さんです。彼の考え方や、発する言葉に、いつも力をもらっています。「人生を豊かにする選択を!!」と彼は言っています。人生を豊かにするために自由に選択ができる今の社会に感謝し、子どもたちにも伝えていきたいと思っています。

現在は、コロナでなかなか難しいですが、いつかは、家族でライブに行くことが夢です。ライブに行つて、めいっぱい楽しむために、まずは、家族でカラオケに行こうと思います。歌を歌えば、気分もすっきりします。また、自分が好きな曲は、子どもも好きになる場合がたくさんあります。時には子どもと一緒に全身を動かして歌を歌ったりすることで、より楽しい時間が共有できるので、皆さんも是非、自分の好きな歌を子どもたちの前で歌ってみてはいかがでしょうか。